

## (財)福岡アジア都市研究所 平成22年度第1回都市セミナー 「持続可能な都市と農山漁村の形成に向けて」

1968年に制定された市街化調整区域制度は、都市部の無秩序な拡大を防ぐために整備されたものですが、近年では少子高齢化や産業構造の変化もあり、市街化調整区域における諸課題は、既存の制度枠組みでは十分に対応できなくなってきています。

福岡市においても、過疎化や高齢化が進む農山漁村集落において、土地利用の担い手である農林水産業の減少下での地域づくりのあり方の問題、さらには外縁部に集落を残した状態での都市の縮小化により、市街化調整区域における生活条件の悪化、特に公共交通の脆弱化に伴う高齢者を中心とする交通弱者への対応が求められており、それらの今後のあり方については、市民のみんなで考えていく必要があります。

今回のシンポジウムでは、福岡市における、都市と農山漁村の持続可能な形成に向けた問題点の再認識と、今後のあり方を考えていく契機とすることを目的に、有識者による講演、当研究所の研究成果や過疎地における交通改善事例の発表、そしてパネルディスカッションを行います。皆様のご参加をお待ちしております。

【日 時】平成22年8月20日（金） 13:30～16:00（開場 13:00）

【会 場】福岡市役所本庁舎 15階 講堂（福岡市中央区天神1丁目8-1）

【内 容】1. 基調講演 「都市近郊漁村の現状と将来」

日高 健（近畿大学産業理工学部経営ビジネス学科准教授）

2. 報 告

テーマ1 「『市街化調整区域の施策に関する研究Ⅱ』調査報告」

天野 宏欣（財団法人福岡アジア都市研究所研究主査）

テーマ2 「イーグルバスの取り組みについて ～過疎地域における交通～」

谷島 賢（イーグルバス株式会社代表取締役社長）

3. パネルディスカッション 『持続可能な都市と農山漁村のあり方を考える』

（コーディネーター） 松本 法雄（財団法人福岡アジア都市研究所副理事長）

（パネリスト） 日高 健（近畿大学産業理工学部経営ビジネス学科准教授）

谷島 賢（イーグルバス株式会社代表取締役社長）

伊藤 裕司（福岡市総務企画局企画調整部企画課長）

天野 宏欣（財団法人福岡アジア都市研究所研究主査）

（敬称略）

【主 催】財団法人福岡アジア都市研究所

【共 催】福岡市、社団法人日本都市計画学会九州支部

【お申し込み】平成22年8月16日（月）まで

※参加無料

定員200名（先着順）

「8/20都市セミナー聴講希望」と明記のうえ、参加を希望される方の《氏名》《電話番号》《住所》《メールアドレス（お持ちの方）》を書いて、メール又はFAXにて福岡アジア都市研究所までお申し込み下さい。なお、福岡アジア都市研究所のホームページ（<http://www.urc.or.jp>）からもお申し込みが可能です。

【お問い合わせ先】財団法人福岡アジア都市研究所 担当：白浜・水谷

〒810-0001 福岡市中央区天神 1-10-1

TEL：092-733-5686 FAX：092-733-5680 E-mail：event@urc.or.jp

## F A X 送信用紙

(財)福岡アジア都市研究所

担当：白浜・水谷

F A X : 0 9 2 - 7 3 3 - 5 6 8 0

T E L : 0 9 2 - 7 3 3 - 5 6 8 6

財団法人福岡アジア都市研究所 宛

(財)福岡アジア都市研究所 平成22年度第1回都市セミナー  
「持続可能な都市と農山漁村の形成に向けて」

日時：平成22年8月20日(金) 13:30～16:00

場所：福岡市役所本庁舎15階講堂（福岡市中央区天神1-8-1）

### 申 込 票

ふりがな	
氏 名	
電話番号	
郵便番号	
住 所	
E-mail	

※お申し込み後、整理券の送付はいたしません。当日は、直接会場へお越し下さい。  
※記載いただいた個人情報は、当セミナーの運営準備、ならびに当研究所セミナーのご案内以外には使用いたしません。